



変位抑止型アンカー（低N値耐力補強）

# Cロックアンカーシステム

本来、パイプアンカーの計算値では使用できなかった軟弱地盤でも、サブアンカーが効果的に抵抗することで変位を抑止し、例えばN値5と同等以上の耐力を発揮するアンカーシステムです。

このシステムは、現地引張試験によって耐力を求めます。

## TSK Cロックアンカーシステムの特長

土砂部用アンカーの耐力を最も左右する地表面から0.5～1m付近の深さへサブアンカー設置することでアンカーの受圧面積を広げ、サブアンカーが外周方向へ広がる様に荷重を分散し、メインアンカーを補強します。

メインアンカーとサブアンカーの間に「V型スペーサー」を設置し、アンカー同士の接触点を「面接触」とすることで変位が直線的となり、変位量を効果的に抑止します。

サブアンカーには「ストッパー材」を備えることで、サブアンカーの横方向に対する変位量を規定し、メインアンカーの変位を許容変位内に抑える機能があります。

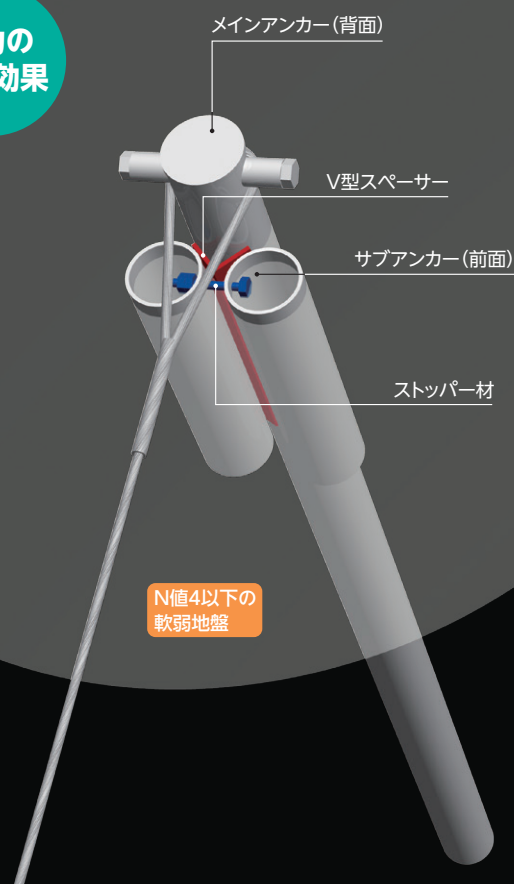
「サブアンカー」の設置は、メインアンカーの設置と同じ機材を使用するため施工性が高く、機材の共通化を行うことで法面作業の負担の軽減に貢献します。

耐力の  
補強効果

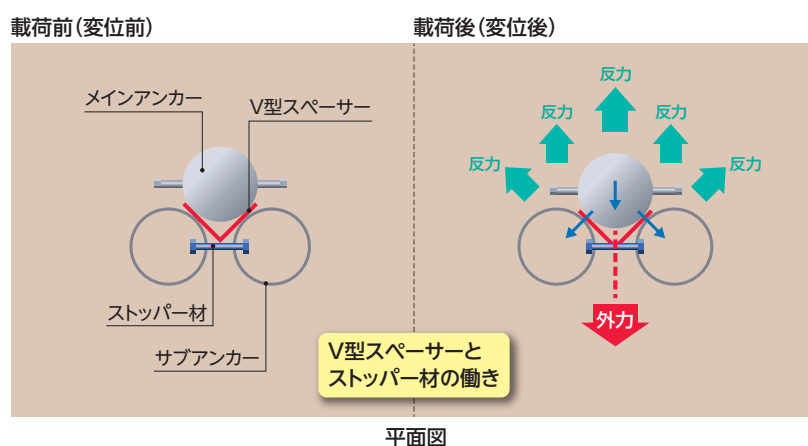
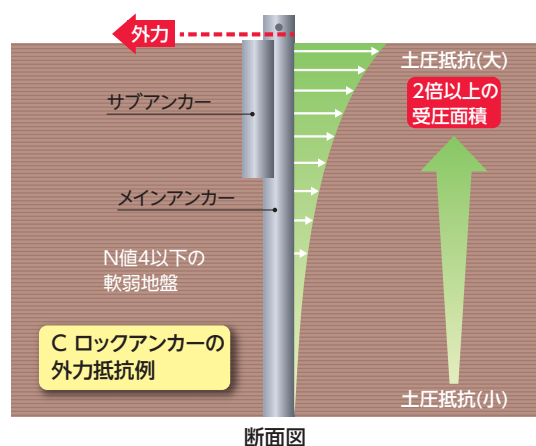
変位の  
抑止効果

信頼性の  
向上

施工性の  
向上



## サブアンカーの耐力的役割



## TSK Cロックアンカーシステム 施工方法（標準的な施工手順）

### 1 サブアンカー用穿孔アジャスターの設置



### 2 サブアンカー用センタリング治具の取付け



### 3 サブアンカーの設置



### 4 ストッパー材の設置（ロック機構）



### 5 V型スペーサーの設置

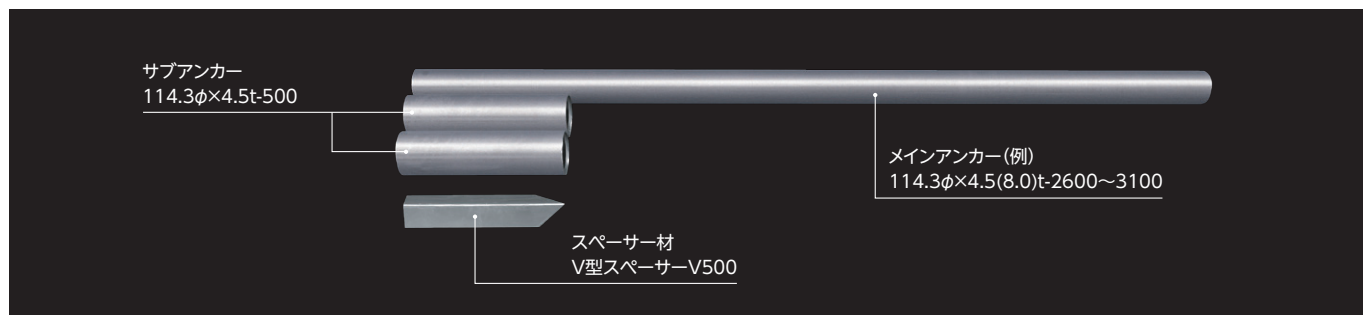


### 完成 写真は（リングスペーサー有りタイプ）



※サブアンカーのレイアウトは、現地の地質条件により変更する場合があります。

## 一般図 型式:TSK\_CL-1150W



## 規格表

### TSK Cロックアンカーシステム

形式・名称	規 格	サブアンカー 設置本数	参考耐力 (N値4, 最大変位量15mmとした場合※2)
TSK_CL-1150W※1	114.3φ×4.5t-500(1000) L-80×80×6t-530(1030)	2本	≒25kN (構成: メインアンカー 114.3φ×4.5t-2600 サブアンカー 114.3φ×4.5t-500×2本 V型スペーサー L-80×80×6t-530)
TSK_CL-1350W	139.8φ×6.0t-500(1000) L-80×80×6t-530(1030)	2本	

※1: TSK CロックアンカーシステムはTSK\_CL-1150を基本形式とし、耐力試験によってサブアンカーの長さ及び外径を変更します。

※2: 実施工では供試体を設置し、軸直角方向引張試験を行い変位量および耐力を確認してください。

●アンカー規格・仕様は、予告なく変更することがあります。



エンジニアリング事業部 札幌支店

〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)

TEL.(011)726-3210 FAX.(011)726-3215

URL <https://www.tokyorope.co.jp>

カタログ <https://www.tokyorope.co.jp/product/eg>



本 社 〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)

TEL.(011)726-3185 FAX.(011)726-3215

URL <http://hokkaido-toko.toko-techno.com/>